

## 第 69 回定期総会 竹谷とし子参議院総務委員長祝辞

全国町村議会議長会定期総会の開催に当たり、参議院総務委員会を代表して、一言御挨拶を申し上げます。

御列席の皆様には、地域社会の活性化と住民福祉の向上のため、日頃から献身的な取組をいただいておりますことに対し、深く敬意を表しますとともに、衷心より感謝申し上げます。また、本日、自治功労者及び町村議会表彰等の栄誉に浴された皆様に対し、心からお祝いを申し上げます。

さて、平成三十年度の地方財政対策においては、緩やかな景気回復の下で税収の増加が見込まれる中、臨時財政対策債を縮減しつつ、前年度を上回る一般財源総額を確保することとされています。国会においては、今後、これらを実施するための地方交付税法及び地方税法の改正案の審議が行われる予定です。我が国全体が本格的な人口減少と高齢化を迎える中、人々が安心して生活を営み子育てができる地域社会を実現していくためには、各地方公共団体において、個性や特色をいかしたまちづくり、若者の雇用創出など、地域の実情を踏まえ、行政サービスを持続可能な形で提供していくことが重要です。

こうした中、地域の住民を代表して行政監視機能や政策形成機能を担う地方議会の役割はますます重要となっております。昨年の通常国会で成立した改正地方自治法においては、決算不認定の場合における長から議会等への報告が義務付けられたところです。

皆様方におかれましては、こうした改正の動きも踏まえつつ、情報公開による住民との信頼関係の醸成などにより、住民の関心を喚起し、町村議会の存在感を更に高められるよう、一層の御尽力をお願いいたします。

私ども参議院総務委員会といたしましても、委員会の審議等を通じ、分権型社会にふさわしい地方行財政基盤の確立に向け、引き続き努力してまいり所存であります。

最後に、全国町村議会議長会の更なる御発展をお祈り申し上げるとともに、御列席の皆様の御健勝と御活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成 30 年 2 月 8 日

参議院総務委員長 竹谷とし子